

組合員の皆さまへ

資格変動の届出のお願い

JAの構成員である組合員の皆さまには、組合員資格の変動等があった時にはその旨をお届けいただくことになっています。

下記の項目に該当する場合には組合員資格が変動もしくは喪失している可能性がありますので、確認のため、お手数ですが最寄りの支所までご連絡をお願いいたします。

- 正組合員の方で、次のいずれにも当てはまる場合。
 - ① 耕作する土地が3アールより少なくなった。
 - ② 農業従事日数が年間90日より少なくなった。
- 准組合員の方で、住所が地区外(高知県外)で勤務地が地区内にあるが、信用事業(貯金・貸付)、共済事業、購買事業のいずれも利用しなくなった。
- 准組合員の方で、住所および勤務地が地区外(高知県外)にあるが、購買事業、販売・加工・倉庫事業、特定農地貸付事業のいずれも利用しなくなった。
- 団体の正組合員で、農業経営を行わなくなった。
- 団体の准組合員で、主たる構成員や出資者が農業者でなくなった。
- 家族の中で、正組合員・准組合員の方が死亡されている。

※JA高知県の「地区」は、高知県全域になっています。

イチゴ「おおきみ」東京市場で商談会

幡多地区中村支所おおきみ部会は12月5日、東京市場を訪れ商談会を実施しました。イチゴ「おおきみ」は大玉で香り高く糖度も高いのが特徴。高付加価値販売を実現させ、国内の百貨店だけでなく輸出(東南アジアなど6カ国)し販路を開拓。商談会には東京シティ青果(株)ら3社などが参加しました。取引先からの評価も良く、輸出先拡大のため出荷量増加の要望がありました。

同部会からは、資材高騰の影響に配慮した価格交渉や新たな輸出先の拡充、PR力を高めようと刷新したチラシやポスターの活用などを要請しました。



輸出先拡大などを要請する生産者ら

第5回 すくも青空フェスタ 令和7年3月9日(日) 9:00~14:00 すくも84マリンターミナル 〒788-0028 高知県宿毛市新港1915-1

宿毛4Hクラブ主催

雨天決行

食べる学校 海の学校

KIDS レストラン

イチゴスイーツピクニック

魚の祭り体験

4H食堂 豚汁販売

木のプール

じゃんけん大会

トラック市

キッチンカー出店

イベントスケジュール

9:00 開会 文芸始め披露 イチゴの箱売り

9:30 魚の祭り体験

10:00 KIDSレストラン(第1部)

10:30 イチゴスイーツピクニック

11:00 カツおのたき無料配布

12:30 KIDSレストラン(第2部)

13:00 イチゴの箱売り

13:30 魚の祭り体験

13:50 じゃんけん大会

14:00 閉会

新発売! 新たな軽量・低コスト肥料について

農作業の軽労化、肥料コストの低減を求めるとの要望にお応えし、JA高知県では軽量・低コストを目指した新たな肥料の販売を始めました。

あなたにやさしく、畑にやさしく とさ有機 シリーズ

- ① 15kg袋で持ち運びやすく、撒きやすい
ご年配や女性の方にも持ちやすく、傾斜地や山間部での作業の軽労化に貢献します。
- ② 施肥重量の低減が期待できる
現行の製品よりも成分を高めた肥料もご用意し、施肥重量の低減に貢献します。
- ③ ほ場の状況に合わせて使い分けできる
数種類の銘柄から、ほ場の状況に合わせて使い分けいただけるのももちろん、組み合わせ次第ではより自由な施肥設計が可能です。

1号 元肥にも追肥にも使える 基本の“き” 成分 10-3-5

2号 ありそうでなかった かり量機タイプ 成分 6-6-16

3号 やっぱこれだね! チツン・リンを重視 成分 10-12-5

※「とさ有機」は予約のみのお取り扱いとなります。詳しくは最寄りのJA各購買窓口までお問い合わせください。

大方支所管内



ミニ門松を作って高齢者宅へお届け 女性部大方支部

女性部大方支部は12月27日、文化教室を開きました。部員約30人が参加しました。作るのはミニ門松で、この時期に毎年作り、地域の一人暮らしの高齢者に配布しています。松竹梅の他に大正地域のスプレー菊、地元産のカスミンウやハイブリッドスターチス、千両や南天、ギョリュウバイなどを給水スポンジに挿し、想いおもいに門松をアレンジしました。お正月らしくにぎやかに見えるよう、職員が協力し紅白やキラキラのモールで小物を作製。花と同様に挿し仕上げました。また、地区本部に飾るミニ門松もいただき持ち帰りました。受付カウンターに飾るだけでお正月らしく、華やかな雰囲気になりました。

幡多地区管内



職員対象に料理教室開催 女性部幡多地区

女性部幡多地区はJAの職員を対象に料理教室を開催しました。職員11人が参加。メニューは、あんときな粉、あおさのりのおはぎ3種とかきあげ、炊き込みご飯、ナスゼリー、みそ汁です。始めに同地区の伊与田副部長が要点を説明し実演した後、各々が作りました。おはぎ作りが初めてだという職員が多くあんを多く取りすぎたり、もち米で包むのに苦戦していました。参加した職員は「体験できたので家でも失敗せずに作れそう」、「いつも出来合いのもので済ませてしまうので作り方が知れて参加してよかった」と話しました。

中村支所管内



東富山ふるさと祭り 東富山を守る会

東富山を守る会は12月8日、四万十市の旧片魚中学校にて「東富山ふるさとまつり」を開催しました。まつりは片魚地区では30回を超え開催していますが大用、常六、片魚と東富山地域としての開催は2回目となります。同会代表の遠山道男さんは、令和3年に「農事組合法人いーすとみやま」を立ち上げ、補助金を活用しながら地域農業、また農地を守っています。この日は、温かいうどんや豚串、地元野菜の直売、一條太鼓の演舞、フラダンス、あいがものレース、餅投げなど盛りだくさんの内容で、来場者が多く地域住民や地区内外の家族連れでにぎわいました。

宿毛支所管内



ニノ宮保育所が ジャガイモの収穫体験! 宿毛4Hクラブ

宿毛4Hクラブは12月18日、ニノ宮保育所と一緒にジャガイモの収穫をしました。同クラブは食農教育の一環で毎年植え付け、収穫を実施しています。9月上旬と一緒に植え付けし、収穫までに草引きもしたそうです。自分で植えた苗の畝に名前のプレートが挿していたので、もちろん収穫も自らが植えたジャガイモ。「たくさんとれたー!」と皆さんが収穫を喜びました。さらにお楽しみは続いて、クラブ員が収穫したばかりのジャガイモでフライドポテトやポテトチップスを作って振る舞い、皆でおいしくいただきました。子どもたちの「おかわりー!」の声に先生は「お昼ごはんたべられるかな」と微笑みました。

幡多地区から こんにちは

西土佐出張所管内



家庭菜園コンクール ハイレベル!

女性部西土佐支部は12月9日、家庭菜園の管理状況や生育状況などを審査し競う「家庭菜園コンクール」を開きました。部員約50人、市、JAや高知県幡多農業振興センターなどが参加。部員同士で栽培方法を学び合い技術向上を図ろうと60年以上続く活動です。

審査員は同センターやJA営農指導員など6人で、「栽培品目数」や「管理状況」、「生育状況」など6項目を審査。部員8人の菜園を巡回しました。参加した部員らは、「この野菜は何?」「うちのピーズはまだ生きてない」など話し、自身が管理する野菜の生育状況と比べながら見学しました。遠方の子供もや親族、友人などに配るため、部員のほとんどが農業を使わず、播種する時期を遅らせたり、ほとんどを手作業で栽培したりなど、手間暇かけて育てています。

審査員らは「育てにくい気温とさらに害虫も多かったが、予想以上に野菜がきれい元気。夏場の畑も見たい」と講評。同部の山崎一二三部長は「家庭での野菜作りは皆が熱心。他の部員を参考にし、自分も育ててみようと考えて。子どもらに食べてほしいという想いと、コンクールの存在も家庭菜園のレベルを向上させていると感じる。また部員間の交流の場としても続けていきたい」と笑顔を見せました。

宿毛支所管内



トラックマルシェ開催 青壮年部幡西支部と 宿毛4Hクラブ、道の駅すくも

宿毛4Hクラブと、青壮年部幡多本部幡西支部は12月1日、道の駅すくもと協力し「トラックマルシェ」を開催しました。宿毛市にある「サニーサイドパーク」にて、青壮年部が栽培したキュウリ、ミョウガ、ナス、トマト、ネギ、大根、チンゲンサイやコメなど。名前のゆえんとなっているように、新鮮で元気な野菜を軽トラックの荷台に並べ販売。来場者は持ちきれないほど品を選び買い求めていました。

海を望む広場や
アスレチックがあり、
キャンプもできる♪

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



乾杯！とにぎやかに新酒を祝う出席の皆さん。

1 中村支所 純米吟醸「とみやま」上出来オーナーらで試飲会開催

四万十市のとみやま酒米生産部は12月9日、環境に配慮された酒米「吟の夢」で造られた「純米吟醸とみやま」の新酒試飲会を開きました。生産者、オーナー、市や県、JAや関係者など約50人が出席。

同市の山間部にある富山地区を広く知ってもらい地域の活性化につなげよう、平成13年から同部員6人が栽培を開始。当初から特別栽培をしており、今年度から生産者と同市とJAが協力し取り組む、四万十川の保全に配慮して栽培し、「しまん」と農法米」として売り上げの一

部を「四万十川清流基金」へ寄付しています。田植えや稲刈りでは地元の園児や生徒、オーナーや関係機関を招き賑やかにしています。収穫した酒米は、同市の蔵元、藤娘酒造(株)が醸造。仕込み水には四万十川伏流水を使用し地元産にこだわって造っています。

同酒造の矢部允一社長は「今年はコメが硬く難しかったがおいしい酒だと自信がある」と力強く話しました。同部の西村悦男部長は「今年度はイノシシの被害が多く収量を心配したが例年通りの口数が出てよかった。体が動く限り続ける」と話しました。

2 三崎出張所 ナバナの産地視察 広印広島青果(株)など来訪



ナバナのほ場で橋本指導員の説明を聞き生産者と話をしました。

三崎出張所管内のナバナ産地視察・商談のため12月10日、広島県の市場関係者が訪れました。広印広島青果(株)と仲卸の(有)二井商店は現地で生産者と対話。広印の八崎係長は「これまで広島県内では大分県のナバナが9割を占めていたが産地の減少に伴い、高知県産を6割程度に増加したい。ナバナが欲しいので来ました」とアピールしました。橋本営農指導員が産地概要やこれまでの生育状況、今後の見通しなどを説明。

視察の12月10日時点で、三崎ナバナ部会の山本泰司さんは「今は乾燥が進んでいるので施肥の意味がない状態。またまとまった雨が降ると一気に発育する。1月中旬あたりには収量がのると予想している」と期待を込め話しました。

3 宿毛支所 「さがほのか」目慣らし会 宿毛支所イチゴ部会



レギュラーパックに詰め重さを確認する部員の皆さん。

宿毛支所イチゴ部会は12月13日、イチゴの品種「さがほのか」の出荷が始まったことを受け、目慣らし会を開きました。部員や高知県幡多農業振興センター、高知中央卸売市場、JAなど約30人が参加。

化粧箱の詰め方や注意点、高品質で出荷するためにイチゴを実際にレギュラーパックに詰めるなどして出荷規格を確認しました。同部は16人が所属し昨年度は60tを出荷。今年度は65tを目標としています。幡多営農センターの山脇指導員は「今年度は果実が熟するのが早く小玉傾向で部員によって生育の早さに差があり、現在まで収量は少ない。年始には出荷が揃い、収量も増えたいと見込んでいる。出荷先の市場等にアピールし認知の拡大や販路を広げていきたい」と話しました。

4 十和支所 廃ポリなど回収 青壮年部十和支部



持ち込み分の重さを測ってから廃棄します。

青壮年部幡多本部十和支部は12月5日、廃ポリ、廃ビニールなどの回収を行いました。部員10人やJAなどが参加。年に2回、毎年実施し20年以上前から続く取り組みです。四万十町十和管内の生産者等から、不要になった農業用ビニールや農ポリなどが次々と運び込まれました。これらは産業廃棄物となるためまとめて回収することで、個々で処分に持ち込む手間を省き地域貢献活動にもつながります。2時間で23人が持ち込み、ポリは約15t、ビニールは約251kgを回収しました。

5 幡多地区 防災訓練で有事に備え 地区本部とJAグリーン四万十店



火事だー！と知らせながら消火する職員。

地区本部とJAグリーン四万十店で12月19日、防災訓練を実施しました。火災発生から火元確認、消防への通報や救助、避難誘導、点呼まで一連の流れを実施。同店でも実施後、水消火器で初期消火の訓練を行いました。幡多中央消防署は「発見者の大事なことの1つは、火事だー！と大きい声で知らせる。火事ぶれ、を行うこと。また、火災報知機はある程度火事の知らせが広まればベルを切ってから通報するとよい」とアドバイスしました。

6 西土佐出張所 米ナス部会次年度につなぐ反省会 雨よけ・露地栽培合同



今年度の振り返りをする部員の皆さん。

西土佐米ナス部会は12月25日、米ナス出荷の終了が近いことを受け反省会を開きました。岡村営農指導員は雨よけ栽培と露地栽培とに分け出荷量を月別で示した表を説明。その後、今年度の振り返りを部員全員が報告しました。単価がよかつた時期に収量が上がらなかつたという声が多く、最初のピーク後の収量をいかに上手に増やすか、シーズンごとの管理をまとめたものを共有することや、暑さ対策などの課題がでました。また、高知県幡多農業振興センターが夏場の高温対策として、外気導入機材や遮熱資材を用いた試験結果を説明しました。

7 宿毛支所 感謝祭で歳末大売り出し JAグリーンはた宿毛店産直ぴかいち



ガラポン抽選会の様子。

12月27日、28日の2日間、JAグリーンはた宿毛店では、日ごろの感謝を込めて感謝祭を行いました。賞品に女性部宿毛支部手作りの味噌やイチゴの「さがほのか」、商品券など豪華ガラポン抽選会のほか、店頭精米や精肉など特別価格で販売。また、宿毛4Hクラブも協力し、同クラブが栽培したジャガイモを販売しました。同店岡本店長は「日頃より当店をご利用くださり御礼申し上げます。また、新鮮な野菜や果物、加工品など出荷してくださる組合員の皆様にも大変感謝しております。これからも皆様が必要とされ、期待に応えられる店づくりに努めてまいります」と話しました。

役立つ! 得する! 情報 えいのう〜

幡多農業振興センターより

■ 幡多農業振興センター 武澤

露地オクラの栽培と品種紹介

品目転換を考えている方へ、露地オクラを栽培してみませんか!?

オクラは、栽培過程で難しい作業工程を必要とせず、失敗が少ない作物のため、初心者にもオススメできる品目の一つです。また、露地品目の中では、単価が高く、安定した所得が望める品目です。

【露地オクラの栽培管理スケジュール】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
土作り	畝立て	ポリマルチの設置	播種	トンネルマルチの設置	トンネルマルチの穴開け	トンネルマルチの除去	収穫期間				
					収穫開始		追肥(月2〜3回)	摘葉作業	収穫作業	収穫終了	

経営収支 (10a) : 売り上げ200万円 - 経費80万円 = 農業所得120万円

【品種紹介】

「アーリーファイブ」(タキイ種苗株式会社)

はっきりした5角形で肉質がやわらかく、耐暑性があり、スタミナがあることから、栽培後半まで収穫量を維持できる。多収が期待でき、幡多で一番多く栽培されている品種です。

「ジュピター」(武蔵野種苗園) 新品種!

- ・「ジュピター」は、低節位から着果するため、初期収量に優れ、生理障害果(イボ果、曲がり果、アントシアン果など)が非常に少ない品種です。
- ・「ジュピター」を栽培した生産者からは、「実が非常にきれい」という評価を受けています。

◎「ジュピター」の活用例
 初期収量の増加、作業労力を分散したい方に!
 → 作付け品種の一部を「ジュピター」に切り替えるのがおすすめ!

露地オクラの栽培に興味がある方は、お気軽にご相談下さい!

【お問い合わせ先】 幡多農業振興センター : 0880-34-7070

ナス

あなたもチャレンジ!

家庭菜園

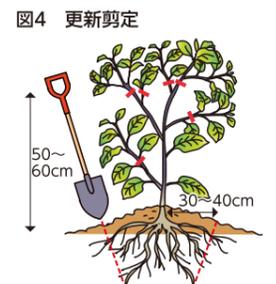
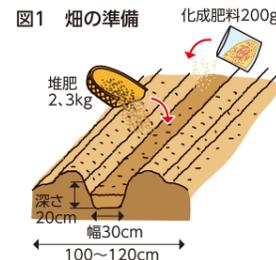
長い期間の収穫を楽しむ

ナスのふるさとには、日照量が多く高温のインドです。夏の酷暑でも適切な管理を行えば、夏から秋まで長く収穫を楽しむことができます。煮る、焼く、揚げる、漬けると用途は多様です。「ナス紺」と呼ばれる色素はアントシアニンの一種で、活性酸素を抑制し、血管をきれいにする効果があります。

〔品種〕長卵形の「千両二号」(タキイ種苗)、長形の「筑陽」(タキイ種苗)、また地方には在来品種の小ナス、丸ナス、水ナスなど多様な品種があります。

〔苗の選び方〕ナスの育苗期間は2カ月程度と長いので、苗の購入が便利で、特に土壌病害の青枯病を予防するためには、接ぎ木苗がお薦めです。良い苗は、①本葉が7〜9枚ほどで、双葉が残っている ②幹が太くて、全体的にずんぐりしている ③葉脈は鮮やかな紫色 ④1番花、あるいはそのつぼみが付いている ⑤根はポットの底から出そうなくらい、しっかりと張っているものです。なお、市販苗が若苗の場合は、一回り大きいポットで1番花が咲くまで育てましょう。

〔畑の準備〕植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまいて耕しておきます。1週間前に幅100〜120cmの栽培床を作り、中央に深さ20cmの溝を掘り、



栽培カレンダー(ナス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
冷涼地		▲	■	■	■	■	■
中間地		▲	■	■	■	■	■
暖地		▲	■	■	■	■	■

▲ 植え付け ■ 生育 ■ 収穫

溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%程度)200gと堆肥2、3kgを施し、よく混ぜておきます(図1)。
 〔植え付け〕中間地では遅霜の恐れのないゴールデンウィークが適期で、1条植えでは株間60cmとし、ポリフィルムでマルチをして地温を上げておきます。
 〔誘引・整枝〕植え付けと同時に仮支柱を斜めに挿し、株を支えます。1番花の下から出る勢いの良い2本の側枝を残し、他はかき取ります(3本仕立て)。その後、1m以上の支柱2、3本を交差させて固定します(図2)。

〔追肥・灌水(かんすい)〕収穫が始まる頃からマルチフィルムの裾をめくって、1平方m当たり化成肥料50g程度を株元にまき、土寄せします。その後、2週間置きに畝の裾に同量を収穫中休みなく与えます。草勢の判断目安は、健全な花は花柱(雌しべ)がやく(雄しべ)の上に出ている状態です(図3)。また、みずみずしいナスを採るには、十分な灌水が必要で、特に高温乾燥期には毎日灌水します。
 〔更新剪定(せんてい)〕中間地では盛夏(7月中旬〜8月上旬)になると、枝が込み合います。葉が茂って果実への日当たりが悪くなると、この頃に全体の3分の1〜2分の1の枝を切り詰める剪定を行い、追肥をして十分な灌水をします(図4)。約1カ月後に良い秋ナスが収穫できます。

〔病害虫防除〕アブラムシ類、ハダニ類にはマロン乳剤など、テントウムシダマシにはスミチオン乳剤などで防除基準に従って防除します。
 〔収穫〕開花後20日程度つやのある若い果実を収穫します。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

園芸研究者 ● 成松次郎

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

毎号「うちんくの台所」を楽しみにしています。レシピを見て、いつも作っています。うまくいくと嬉しいですね。主人も、とてもおいしいと言っていて食べてくれます。

(宿毛支所管内・73歳)

うちんくの台所参考にして料理を作っています。毎月楽しみにしています。

(宿毛支所管内・85歳)

サトイモの変わり餃子、どんな味なのでしょう。サトイモのデザート、モミジをかざりふわふわ生クリームと混ぜ合わせて。私はただ煮物しかできないのに、食べてみたいよ。美味しそう。レストランに来たみたい。

(三原出張所管内・73歳)

本当に簡単に作る事ができました。一人分ですむので毎回手を抜いてしまいますが、作ってみて楽しかったです。子どもや孫が帰ってきたときは披露したいと思います。

(宿毛支所管内・83歳)

▼12月号の「うちんくの台所」はサトイモを使った料理2品のレシピをご紹介しました。煮物一択だったサトイモが餃子のタネになるとは……。私は料理が下手なので、作ってみると、どうもサトイモの量がおおまかだったので調味料が少なかったのか、あるいはエビがなかったのか、何れも乗せずに作ったのがいけなかったのか娘に首を傾げられてしまいました。やっぱりレシピ通りに作らないといけませんね。ポン酢をつけて食べると「あっ、おいしいね」と言って及第点をいただきました。次はちゃんとエビを買います。

毎年菜園コンクールに参加させていただいています。90歳で管理機も使い広い畑で立派な野菜を育てている方もいて感心しきりです。まだまだ先輩を見習って頑張ろうと思います。

(西土佐出張所管内・67歳)

▼今月号の「幡多地区からこんにちは」コーナーに掲載いたしました。菜園コンクールに取材に行くことは私もいつも驚きます。毎年地区の持ち回り巡回しますが、どの地区の畑もきちんと管理されていて野菜が元気。また、スーパーでは見たことのない野菜を栽培していて凝視しているところに「どうぞ」とちゃっかりいただいて帰ったことも。今回伺った方も家庭菜園のレベルを超えるような広さをきれいに管理されている方、見るからに土が柔らかそうなので野菜が喜びそうな土壌、無農薬であるサニーレタスの美しさ、本当にどの菜園もすばらしいと印象に残っています。

※1月号にて掲載した内容に誤りがありました。左記のとおり訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

13ページ「できごとピックアップ上段 5」優勝した山本敏夫さんは中村支部ではなく、正しくは、宿毛支部です。



第5回すくも青空フェスタ

日時 3月9日(日) 9:00～14:00

場所 すくも84マリンターミナル
高知県宿毛市新港1915-1

内容

- ・野菜販売
- ・文旦詰め放題
- ・青壮年部幡西支部によるトラック市
- ・キッズレストラン
- ・イチゴの箱売り
- ・その他出店者多数

第5回 すくも青空フェスタ 令和7年3月9日(日) 9:00～14:00 すくも84マリンターミナル

イベントスケジュール

- 9:00～ 開会
文旦詰め放題
イチゴの箱売り※②
- 9:30～ 魚の盛り体験
- 10:00～ KIDSレストラン(第1部)※①
- 10:30～ イチゴスイーツピクニック※②
- 11:00～ カツオのたたき無料配布
- 12:30～ KIDSレストラン(第2部)※①
- 13:00～ イチゴの箱売り※②
- 13:30～ 魚の盛り体験
- 13:50～ じゃんけん大会
(魚の盛り体験終了後)
- 14:00 閉会(終了時間が早まる可能性があります)

※①事前予約制
※②数量に限りがございます。お買い求めの際はご注意ください。

※詳しくは9ページをご覧ください。